

2021年5月11日

報道関係者各位

日本歯磨工業会

2021年度 歯と口の健康週間にあたって

日本歯磨工業会（会長 濱 逸夫）では、歯と口の健康週間（6月4日～10日）に向けて例年どおり口腔衛生を呼びかける歯と口の健康啓発ポスターを制作し全国にお届けします。

本リリースでは、「歯と口の健康週間」に関連する取り組みと当工業会の活動についてご紹介します。

『歯と口の健康週間の沿革』

「歯と口の健康週間」は、国民に対する歯科衛生思想の普及運動として1928年6月4日に「むし歯予防デー」の名称で行われたのに始まり、以後、戦時中一時中断しましたが1949年から週間行事となりました。1952年には6月4日から10日までの1週間に定められ、1958年より「歯の衛生週間」として毎年実施、2013年より「歯と口の健康週間」として新たにスタートしました。

『2021年度 歯と口の健康週間について』

目的：この週間は、歯と口の健康に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって国民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。

標語：「一生を 共に歩む 自分の歯」

（茨城県ひたちなか市立阿字ヶ浦中学 3年 三浦大季さん作）

本年度重点目標：生きる力を支える歯科口腔保健の推進～生涯を通じた8020運動の新たな展開～
歯と口は国民が健康に生きていく力を支えるものであり、歯科疾患の予防や歯と口の健康を保持する取り組みを進める必要があることから、「生きる力を支える歯科口腔保健の推進」を重点目標とする。

実施期間：2021年6月4日（金）～同年6月10日（木）まで

主催：厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会、日本学校歯科医会

<1> 2021年度 歯と口の健康啓発ポスターの配布

当工業会では、例年どおり今年も口腔衛生を呼びかけるポスターを制作し、全国にお届けいたします。

『企画・制作』 厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会、日本学校歯科医会及び日本歯磨工業会

『デザイン』 アランジアロンゾ（B3サイズ 多色刷り）

『2021年度 標語』 「一生を 共に歩む 自分の歯」

【日本学校歯科医会】が募集した小中学校の標語の中から茨城県ひたちなか市立阿字ヶ浦中学3年三浦大季さんの作品が選定されました。

「8020運動を進めよう」（厚生労働省・日本歯科医師会が提唱する口腔保健の目標）

「一生、自分の歯で食べよう」（日本歯科医師会の標語）

「歯みがきで心と体を健やかに」（日本歯磨工業会のコンセプトメッセージ）

『配布』

ポスター26万枚を作成し、全国の小・中学校をはじめ、保健所、歯科医院、各関係官庁、協力団体などへ配布し、口腔保健の大切さ、毎食後の歯みがきの大切さを呼びかけています。

『活用』

このポスターは、歯と口の健康週間だけでなく、「口腔保健の必要性を訴求する年間ポスター」としてご活用をお願いしています。「歯と口の健康週間（6月4日～10日）」後は、下部の日付部分を切り取って、ご使用いただけるレイアウトにしています。



2021年度 歯と口の健康啓発ポスター

< 2 > ホームページからの情報発信について

「みがこうネット」では、新たなコンテンツの追加、情報の更新など、生活者のみなさまへ歯や歯みがきに関する情報を発信しています。また、「工業会サイト」では、歯磨出荷統計の掲載など工業会の活動の様子を適時伝えています。【 <https://www.hamigaki.gr.jp/> 】

1. 2020年度の「みがこうネット」「工業会サイト」の閲覧者状況と人気コンテンツ

●閲覧者の状況

総アクセス数は32万件、閲覧者は女性58%、男性42%で男性の構成比が前年から8%増、閲覧端末は、スマホなどモバイルが59%、PC37%、タブレット4%でモバイルの構成比が前年から1%増となっています。

●新コンテンツ「お口のセルフケアのコツ・シニア編」の公開

日本歯磨工業会ビジョン実現に向けた施策の1つとして「オーラルセルフケアのアドバイザー」を目指し、日々のお口のケアのコツを簡潔に楽しく発信していく取り組みを2019年から開始。第1弾「ビジネスパーソン編」に続き、2020年は「シニア編」を公開。目指したい素敵なシニア像に合った、口臭予防、オーラルフレイル予防、明るい表情づくり、お口と身体の健康の関連性をわかりやすく紹介しています。



●人気コンテンツの状況

- ・パパ・ママ・キッズ歯育て講座：妊婦さんや0才～6才のこどもの歯みがき方法を伝授
- ・お口のセルフケアのコツ：いつもの歯と口のケアにひと工夫してお口から健康になるコツを伝授
- ・歯みがき電話：歯をみがき始めたお子さまが喜んで歯みがきするようになるお楽しみコンテンツ
- ・がんばれ！みがく君：サラリーマンのみがく君が繰り広げる熱血ドタバタ歯みがきアニメ

2. 「みがこうネット」の2021年度コンテンツ制作・更新予定

- (1) 歯みがき啓発のための読者参加型キャンペーンの継続実施
第10回「クイズに答えて『歯カセ』になろう！歯みがきクイズキャンペーン」(8月～10月)
- (2) 2021年度の新規コンテンツ
「お口のセルフケアのコツ」第3弾として「親子編」を制作中
- (3) 各コンテンツの企画案
 - ・はみがき学級 はみがきカレンダー (年4回更新)
 - ・がんばれ！みがく君 (年2回更新)
 - ・メールマガジンの継続発行 (キャンペーン開始・新コンテンツの告知)

3. 歯と口の健康週間企画

●日本歯磨工業会 新コンセプトメッセージ浸透キャンペーン

日本歯磨工業会では、設立50周年を記念し、毎日の歯と口のセルフケアの積み重ねが、心身の健康維持につながることを啓発すべく、「歯みがきで心と体を健やかに」を工業会の新たなコンセプトメッセージとして掲げました。このメッセージの趣旨を広く啓発することで、歯と口の健康への関心を喚起すると共に歯みがきの重要性を啓発します(5月17日～7月12日に実施)。

- A 賞：「歯みがきで〇〇〇を健やかに」の空欄に答えると抽選で100名に500円の図書カードを進呈
- B 賞：新コンセプトメッセージ「歯みがきで心と体を健やかに」の文字に色や飾りをつけた作品を募集し、コンセプトにあった素敵な作品を表彰。日本歯磨工業会会長賞10万円、優秀賞5万円×3名、キッズ優秀賞(5千円の図書券3名)、佳作(オーラルケアセット5千円分×10名)

< 3 > 啓発冊子の配布

オーラルセルフケアの重要性や効果的なケア方法を解説する冊子を適宜改訂しながら配布しています。

●保健指導者向けテキスト「歯を守る」——設立50周年を機に改訂

新たに「お口のセルフケアハンドブック 歯みがきで心と体を健やかに」(B5版31ページ)として本日より配布を開始。全身の健康維持増進に関わる口腔保健の重要性や、歯磨剤の働き、効果的な歯みがき方法などの内容に、オーラルフレイルや大人むし歯の予防、歯間清掃などの情報を充実化。

●歯科専門家向け「歯磨剤の科学」(B5版、データ図表多用)の継続配布

口腔保健剤の歯磨剤の基本的機能、薬用歯磨剤の効果、安全性、セルフケアなどを解説

< 4 > 日本歯磨工業会の最近の主な活動のご紹介

●日本歯磨工業会ビジョン実現に向けた活動

2017年制定の「歯と口の健康を通じて、人々の快適な生活の実現と健康寿命の延伸に貢献する」という日本歯磨工業会の「使命」と5項目からなる「ビジョン」の実現を目指し、オーラルセルフケアの頼れるパートナーとしての啓発活動や、シニア層に向けた啓発情報提供、海外関連団体との交流などを強化して活動を進めています。

●歯科衛生士養成校、歯科衛生士会等での特別授業(講演)開催

日本歯磨工業会では技術委員会が中心となり、歯みがきに関する正しい情報を提供することを目的に、1993年から毎年、歯科衛生士養成校および歯科衛生士会へ専任講師や技術委員を派遣して特別授業、講演会を開催しています。2020年度の開催回数は21件、本年度も積極的に活動します。

■日本歯磨工業会について

国民の口腔衛生の普及・向上に寄与するとともに、健康産業として歯磨及び関連業界の発展を図ることを目的とした団体で、行政官庁、関連業界、消費者団体等との情報交換、歯磨剤に関する情報提供、口腔衛生に関する健康啓発情報の発信を行っています。例えば、「歯と口の健康週間」に協力し、歯磨剤を通じての口腔衛生の普及・向上を図るキャンペーンを行っているほか、ISOなどの国際会議に積極的に参加し、歯磨剤等の国際規格作成にも協力しています。1971年6月に設立、会員14社、賛助会員14社が参加し、業務委員会、広報委員会、広告委員会、技術委員会、薬事委員会で活動しています。

本件のお問い合わせ先： 日本歯磨工業会 清原 隆生 TEL 03(3249)2511

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-4 三報ビル7F

TEL03-3249-2511 FAX03-3249-2513 <https://www.hamigaki.gr.jp/>